

建設公安委員会県内行政視察概要

平成 28 年 4 月 12 日 (火) ~ 13 日 (水)

【4 月 12 日 (火)】

- ① 新潟市議会 (新潟駅) 10:25 ~ 11:25
- ② 株式会社スノーピーク 13:20 ~ 14:20
- ③ 長岡市議会 (中之島体育館) 15:05 ~ 16:05

【4 月 13 日 (水)】

- ④ 東日本高速道路株式会社
新潟支社信越工事事務所 9:00 ~ 10:00

新潟市議会 (新潟市中央区)

- [視察テーマ] ○新潟駅周辺整備事業の進捗状況について
- 現地視察

■ 新潟駅周辺整備事業とは

鉄道を挟んだ南北市街地の一体的な整備を図り、日本海拠点都市にふさわしい都市機能の強化に向けて、鉄道在来線の高架化や幹線道路、駅前広場等の都市基盤整備をはじめ、駅周辺市街地の総合的な整備を図るもの。大きくは①連続立体交差事業 ②幹線道路整備事業 ③駅前広場整備事業の3つの事業から成っている。新潟駅周辺整備事業により、駅が高架化され、道路が高架下を通行することとなるため、バスの通行体系も大きく変化する。駅前広場を含む全ての整備完了は平成35年度頃の見込みとなっている。

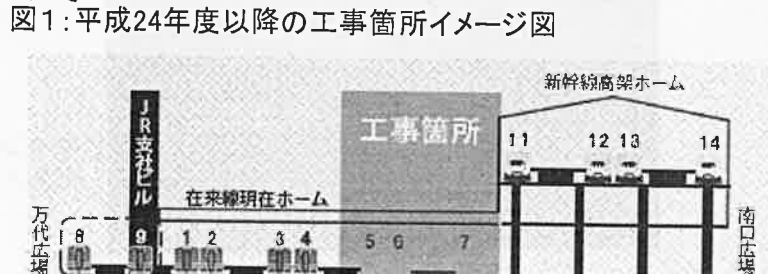
■ 事業の歩み

平成4年度	新潟県・新潟市共同調査開始
平成10年度	「新潟駅周辺整備基本構想」公表
平成10~12年度	新潟駅周辺まちづくり懇談会、説明会、シンポジウムなど実施
平成13~16年度	「新潟駅周辺整備計画素案」の公表、説明会、市民ワークショップなど実施
平成17年度	「新潟駅周辺整備計画」都市計画決定
平成18年度	「新潟駅付近連続立体交差事業」、「都市計画道路(3路線)」都市計画事業認可
平成19年度	政令市移行に伴い連続立体交差事業の事業主体が県から新潟市へ移管
平成21年度	新潟駅南口広場第一期工事完了
〃	新潟駅南口第二地区再開発事業完了
平成23年度	連続立体交差事業及び関連道路事業計画の見直し

■ 連続立体交差事業(在来線の高架化)について

平成24年度から新潟駅の仮ホーム(8・9番線)を供用開始し、5・6・7番線付近で在来線を高架化する工事が進められている(図1)。

平成30年度に予定されている高架暫定開業では、高架線路2~5番線を供用し、新幹



線と在来線の同一ホームが供用され、新幹線との乗り換え利便性が向上することが見込まれている
(図2、2-2)。

図2:高架暫定開業イメージ図

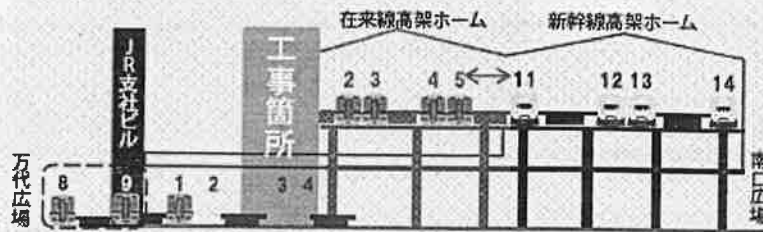


図2-2:新幹線と在来線の同一乗り換えホームイメージ図



(図1、2、2-2:新潟市HPから)

株式会社スノーピーク (三条市)

- [視察テーマ] ○中部産業団地への進出事業計画及び中部産業団地を選定した理由について
○施設視察

■会社概要

創 業 昭和 33 年 7 月
 設 立 昭和 39 年 1 月
 事業内容 アウトドアライフスタイル用品の開発・製造・販売事業
 代表者 代表取締役 山井 太^{とおる}
 資 本 金 9,952 万円
 従業員数 187 名 (連結)

※株式会社スノーピーク ホームページから

■会社沿革

昭和 33 年	山井幸雄氏が金物等の商売を目的として山井幸雄商店を三条市に創業
昭和 34 年	登山を趣味とする山井幸雄氏がオリジナル登山用品を開発、全国に販売開始
昭和 38 年	「スノーピーク」を商標登録
昭和 39 年	有限会社山井商店を設立、法人組織化
昭和 51 年	自社工場を三条市に設立
平成 8 年	山井太氏が代表取締役に就任、株式会社スノーピークに社名変更
平成 13 年	ヨーロッパへ輸出開始、アジア市場へも本格参入
平成 15 年～	福岡県・太宰府に初の直営店を出店 以降、全国各地 (北海道、東京都、京都府ほか) へ出店
平成 23 年	キャンプフィールドを併設した店舗・工場・オフィスが一体となった Headquarters (三条市) へと本社及び工場を移転 旧本社屋に物流センターを開設
平成 25 年	アメリカ・韓国に直営店を出店
平成 26 年	東京証券取引所マザーズ市場に上場



キャンプフィールドを併設した本社建物 (写真奥)
※スノーピークHPから

■ 県営中部産業団地への進出について

現在の物流拠点を手狭となっているため、現在の3倍以上の在庫を置くことのできる物流センターを建設するため、平成28年1月、県営中部産業団地内の土地売買契約を締結した。

物流関連センターは約6,000㎡、工場部分は約600㎡になる見込みで、見学スペースも設けることとしている。物流部門のほか営業部門、主力商品であるたき火台の工場も本社から移転する予定。



購入面積 約1.5ha
投資額 約10億円(予定)
建築面積 約7,400㎡(予定)
進出に伴う新規雇用 10名程度
(予定)
※県の報道資料から

長岡市議会（長岡市）

〔視察テーマ〕 ○公共建築物への木材利用について
○施設視察

■ 公共建築物等木材利用促進法の施行

- 我が国の公共建築物における木造率は低く、平成24年度に新築・増築・改築を行った建築物のうち木造のものの床面積の割合は、建築物全体では41.0%であるのに対して、公共建築物では、9.0%にとどまっている。
- 一方、公共建築物はシンボル性と高い展示効果があることから、木造で建築することにより、木材利用の重要性や木の良さに対する理解を深めることが期待できる。
- このような状況を踏まえて、平成22年10月に、木造率が低く、潜在的な需要が期待できる公共建築物に重点を置いて木材利用を促進するため、「公共建築物等木材利用促進法」が施行された。
- 同法では、国が「公共建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」を策定して、木材の利用を進める方向性を明確化するとともに、地方公共団体や民間事業者等に対して、国の方針に即した取組を促すこととしている。

■ 計画・方針の策定状況

- 全国の都道府県と1,741市町村のうち、85%に当たる1,487市町村が、公共建築物等木材利用促進法に基づく「公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」を策定している。（平成27年7月末時点）
- 本県では、30市町村中、29市町村で方針を策定しており、97%の策定率となっている。
- 長岡市では、公共建築物等における木材利用を促進するため、平成25年3月に「長岡市公共建築物等における木材利用の促進に関する基本方針」を策定している。

■ 長岡市中之島体育館の概要

旧中之島体育館及び中之島民俗資料館の老朽化に伴い、長岡北部地域のスポーツ活動の拠点として建て替え整備された。

内装等には地元産の越後杉ブランド材を積極的に利用する方針で計画を進め、設計では「樹種のうち杉は、越後杉を使用」と特記し、工事発注を行った。

アリーナ及び多目的ホールの壁は越後杉羽目板張りとし、木の持つ「やさしさ」や「ぬくもり」が感じられるデザインとなっている。

※新潟県議会事務局・政策調査レポート第114号（平成27年9月）から一部引用



アリーナ



多目的ホール

※写真 国土交通省「公共建築物における木材の利用の取組に関する事例集」から

東日本高速道路株式会社新潟支社 信越工事事務所（上越市）

〔視察テーマ〕 ○上信越自動車道の4車線化事業の進捗状況について
○現地視察

■会社概要

設立 平成17年10月
事業内容 高速道・自動車専用道路の管理運営・道路建設事業等
代表者 代表取締役社長 廣瀬 博
資本金 525億円
社員数 2,196名（平成27年3月31日現在）

※東日本高速道路株式会社HPから



■計画概要

- ・路線名 関越自動車道上越線
- ・区間 自) 長野県上水内郡信濃町大字野尻
至) 新潟県上越市大字中屋敷
- ・延長 37.5 km
- ・道路幅員 20.5m
(信濃町IC～中郷IC間)
23.5m
(中郷IC～上越JCT間)
- ・着工 平成26年度（本体工事部分）
- ・完成予定 平成30年度

■事業の進捗状況

平成24年4月に4車線化事業の許可を受けて、平成26年度から本体工事に着手。先行して工事した金谷山トンネルについては、平成27年10月に貫通式を行った。



(H27. 10. 21、金谷山トンネル貫通式典)



※東日本高速道路株式会社HPから

建設公安委員会 県内行政視察日程表

月 日	発着時刻	発着地・視察先	備 考
4月12日 (火)	10:00 (発)	議会庁舎	
	10:25 (着)	● 新潟市議会	【説明会場】新潟駅
	11:25 (発)	○ 新潟駅周辺整備事業の進捗状況について ○ 現地視察	【窓口】新潟市議会 TEL 025-226-3385 FAX 025-223-5566
	12:05 (着)	【昼 食】燕三条ワシントンホテル 銀座	燕市井土巻3-65
	12:45 (発)		TEL 0256-33-2000 FAX 0256-63-2000
	13:20 (着)	● 株式会社スノーピーク	
14:20 (発)	○ 中部産業団地への進出事業計画及び中部 産業団地を選定した理由について ○ 施設視察	三条市中野原456 TEL 0256-46-5858 FAX 0256-46-5860	
15:05 (着)	● 長岡市議会		
16:05 (発)	○ 公共建築物への木材利用について ○ 施設視察	【説明会場】中之島体育館 【窓口】長岡市議会 TEL 0258-39-2244 FAX 0258-32-0827	
17:00 (着)	【宿 舎】 マリンホテルハマナス	上越市柿崎区上下浜262 TEL 025-536-6565 FAX 025-536-6500	
4月13日 (水)	8:15 (発)	【宿 舎】 マリンホテルハマナス	
	9:00 (着)	● 東日本高速道路株式会社	【説明会場】視察バス内
	10:00 (発)	新潟支社信越工事事務所 ○ 上信越自動車道の4車線化事業の進捗状況 について ○ 現地視察	【窓口】東日本高速道路株式会社 新潟支社信越工事事務所 TEL 025-525-1121 FAX 025-522-0576
12:00 (着)	議会庁舎		